

令和3年度西予市市政懇談会会議要録

開催日時	令和3年10月11日(月)	19:00~20:20
開催場所	田之浜地区体育館	
出席者	参加者 17人 市側 10人 市長 管家一夫、副市長 宗正弘、教育長 松川伸二 総務部長 山住哲司、政策企画部長 下澤広幸 生活福祉部長(兼)福祉事務所著 藤井兼人、産業部長 酒井信也 建設部長 三瀬計浩、教育部長 宇都宮裕、明浜支所長 上中保博 事務局他 19人	
議事内容(要旨)	<p>1 開会</p> <p>2 市長あいさつ</p> <p>3 地域づくり活動センターに関する説明</p> <p>(1) ①地域づくり活動センター推進計画(案)について(まちづくり推進課長説明)</p> <p>②公民館分館について(生涯学習課長説明)</p> <p>(2) 組織体制(案)について(総務課長説明)</p> <p>4 質疑応答</p> <p>(意見等)</p> <p>地域づくり活動センターを作ることで行政の職員が増えるということか。各センターでやるイベントというのがよく分からない。外注したら早いとかそのようなことか。</p> <p>(回答 政策企画部長)</p> <p>これまで3人体制に地域任用職員が加わるので4人になる。イベントについては、地域ごとにやりやすい方法があると思う。外注などを妨げるものではない。地域にとって良い方法を検討いただきたい。</p> <p>(意見等)</p> <p>田之浜地区では、拠点となるセンターについて、旧田之浜小学校敷地内への新築移転を要望している。進捗状況はどうか。</p> <p>(回答 市長)</p> <p>要望をいただいている。拠点施設以外にもさまざまな要望をまとめていただいている。感謝している。田之浜地区においては、平成27年度にも小学校の利活用についての要望をいただいた。</p> <p>現在の公民館は2階にあり、不便なことは理解している。エレベーターの設置も検討したが、海岸沿いでもあり難しいという認識。現在の地域づくり</p>	

活動センター設置箇所は既存施設の使用を前提としているため、田之浜公民館を候補として挙げさせてもらった。ご理解いただきたい。しかし、小学校の敷地内に立派な体育館もあり、小学校敷地内への建設については、令和5年4月以降も引き続き地域と協議を続けたい。

(意見等)

今、田之浜には魚が一匹もない。ミカンもカメムシがわいて、今年はダメやった。収入はありません。そんな中でも、港にはお金を入れて立派になっている。田之浜の人は少なくなったので、そういうお金を他のことに回してもらえないか。環境変化によるものなので、行政だけを責められないが、どうか田之浜のことを見捨てないでほしい。

(回答 市長)

今年は例年になく雨が少なく、気候の変化してきている。ミカンの被害については行政からの支援も検討できると思うので、実態を調査しながら体制を整備していく。港の整備については、安心安全な生活を送るために必要なもので、引き続きやらせてもらう。他の支援については別で予算を確保しながら進めていく。

(意見等)

センターは市内にいくつできるのか。宇和や野村は人口も多い。センターもたくさんできるのか。その中で新築したり、土地を買収したりしているものはあるか。

他の地区でやっている活動も教えてほしい。

(回答 政策企画部長)

センターは市内に27カ所。旧小学校単位に1つずつ設置する。新設するのは、地区公民館がない大野ヶ原、周木、下泊。既存の施設を使用して、センターを設置する予定。

(回答 まちづくり推進課長)

最も人口が多い宇和地区にもセンターは1つ。他の地域がやっている活動としては、野村なら手上げ方交付金を活用した事業、中筋なら大門松、横林なら特産品のしいたけを活用した事業を行っている。

(意見等)

地域任用職員になる人はかなりのスペックが求められるように感じる。

(回答 政策企画部長)

さまざまな素養がある人のほうが地域づくりにとっては有益だと個人的には感じる。ただ、各地域づくり組織でどんな人が良いかはよく話し合っ決めていただきたい。市として制限をする予定はない。

(意見等)

センターに関する話が地区内であまり聞こえてこない。このままだと令和5年4月に間に合うか心配。市から指導してほしい。

(回答 市長)

地域づくり活動については平成23年からずっとお知らせしている。センターについては広報でのお知らせに加え、この市政懇談会で浸透させていきたいと考えている。時間が長くあるわけではないが、まだ1年半ある。地域づくり組織を中心に話し合ってもらいたい。

(意見等)

センター設置に向けての会議はどのくらいしているのか。

(回答 まちづくり推進課長)

各地域で検討委員会を立ち上げている。それぞれ課題が異なるため、一律に何回かは把握していない。例えば、土居地区であれば、公民館の老朽化があったため平成29年から動き始め、令和2年度にはセンター設置検討委員会を設置。定期的な会合を持っている。横林公民館では課題解決と将来世代と2グループに分けて活動していると聞いている。

このように地域によって課題、状況が異なるので、地域ごとに話し合いを進めてもらうのが良い。今までも大崎振興会中心に要望をいただいている。今日の説明会後も引き続き協議を進めていただきたい。

(意見等)

センターで従事する人へのセミナーなどはあるのか。

(回答 まちづくり推進課長)

センター設置に向けて地域が話し合いをする中で、説明を求められたり、問い合わせがあったりした場合はまちづくり推進課の職員も会議に参加している。

人材育成については今年度から人材育成セミナーを開催している。このセミナーには地域づくりにかかわる人が応募している状況。今後も続けていきたいと考えている。地域づくり組織から、この人を参加させたいという推薦も受け付けているので、ぜひ参加いただきたい。

(意見等)

市の中で地域づくりのオブザーバー的な人はいるのか。

(回答 まちづくり推進課長)

愛媛大学の先生など地域づくりにかかわっている人5人にアドバイザーをお願いしている。各地域へのアドバイザーの派遣業務も行っている。

5 閉会のあいさつ

副市長

6 閉会